

昨日の朝日新聞の所謂従軍慰安婦問題に関する訂正記事に、遂にやっと自らの誤謬を認めたかとの感一入である。日本を代表する朝日新聞記事がそもそもの始まりだった。日本のみならず世界に日本悪玉論を撒き散らし、日本人を貶め、国益を毀損したことは明白である。

・吉田清治の「慰安婦狩り」強制連行証言の初出は、1982(S57)9月2日であり、その証言を32年振りに虚偽であったとして取り消したのだが、余りにも遅すぎる。その間虚偽であるとの指摘もなされ、現地済州島での明確な証言・証拠もなかったのであるからしてもっと早くに取り消すことが出来たはずだ。何故に自らの過ちを改めなかったのか？常ならば、他を糾弾するに舌鋒鋭く迫る朝日が、自らの誤りを潔く認めなかったのは罪深い。

・朝日新聞は、女子挺身隊と慰安婦を混同したというが、意図的な混同としか思えない。当時の研究成果が云々は言い訳に過ぎぬ。為にした報道であるのは明らかである。

・元慰安婦と称する韓国人女性の証言についても、彼女がキーセン（妓生）学校に通っていた事実を隠し、あたかも一般市民女子が慰安婦にされたかのように誘導していたと思える。正確性に欠ける報道であると云わねばならない。事実の捻じ曲げはないというが、公平性に極めて欠ける読者誘導であることは明々白々である。大新聞のすることか？

・朝日新聞の汚いところは、日本政府の調査で強制連行の事実を示す証拠はなかったにも関わらず、強制連行ではなく、慰安所における強制性があったと論理をすり替えたことにある。日本軍による組織的な強制連行があったと華々しく打ち上げたにもかかわらず、それらを示す証拠がないとなると、一転慰安所での強制性云々と論理をすり替える、汚いことを大新聞がするものだ。

・日本軍の関与を示す資料発見と大々的に報じたが、その資料は、「慰安婦募集に関し業者を指導せよ」との文書であり、これをもって軍が慰安婦の募集をしていた証拠としたものであるが、明らかに正確性を欠き、読者をミスリードすることを狙ったものだ。

米国では慰安婦像（碑）が既に6個建立され、撤去請求も棄却されるという由々しき事態も出来している。また国連でも、所謂慰安婦に関して、日弁連のロビー活動もあって、1993年のクマラスワミ報告と1998年のマクドゥラガー報告で厳しく糾弾を受けている。

① 朝日新聞の誤報とは言えない云わば悪意ある記事と、1993(H5)年8月4日の河野洋平官房長官談話により、日本に対する謂われなき誹謗中傷が起きた。この責任を朝日と河野氏は採るのだろうか？両者は、万死に値する！

朝日も訂正記事だけで事を収めるのではなく、日本国民と世界に向けて謝罪をすべきではないのか？一歩前進ではあってもまだ生温い。

② 日本政府はどうすべきか？日本の正当なる主張を堂々と海外に発信し、誤解を解くべきである。当時の常識がどうであろうとも、慰安所を設置し管理したことにより、女性の尊厳を傷つけたことは反省するのは当然である。然し、強制連行はなく、軍が組織的に関与していないという事は明確に述べるべきだ。